

公園工事における第三者への対応について

技術者NO.00066250

袋井地区 株式会社 鈴恭組

主執筆者 長谷川恒治

はじめに

本工事はJR東海道線、磐田駅の南西約2km、東海道新幹線の南側隣接した旧クリーンセンター跡地に新たに公園をつくる工事であった。

工事概要等

工事名 令和元年度 旧クリーンセンター跡地公園整備工事

発注者 磐田市長

工事箇所 磐田市 刑部島 地内

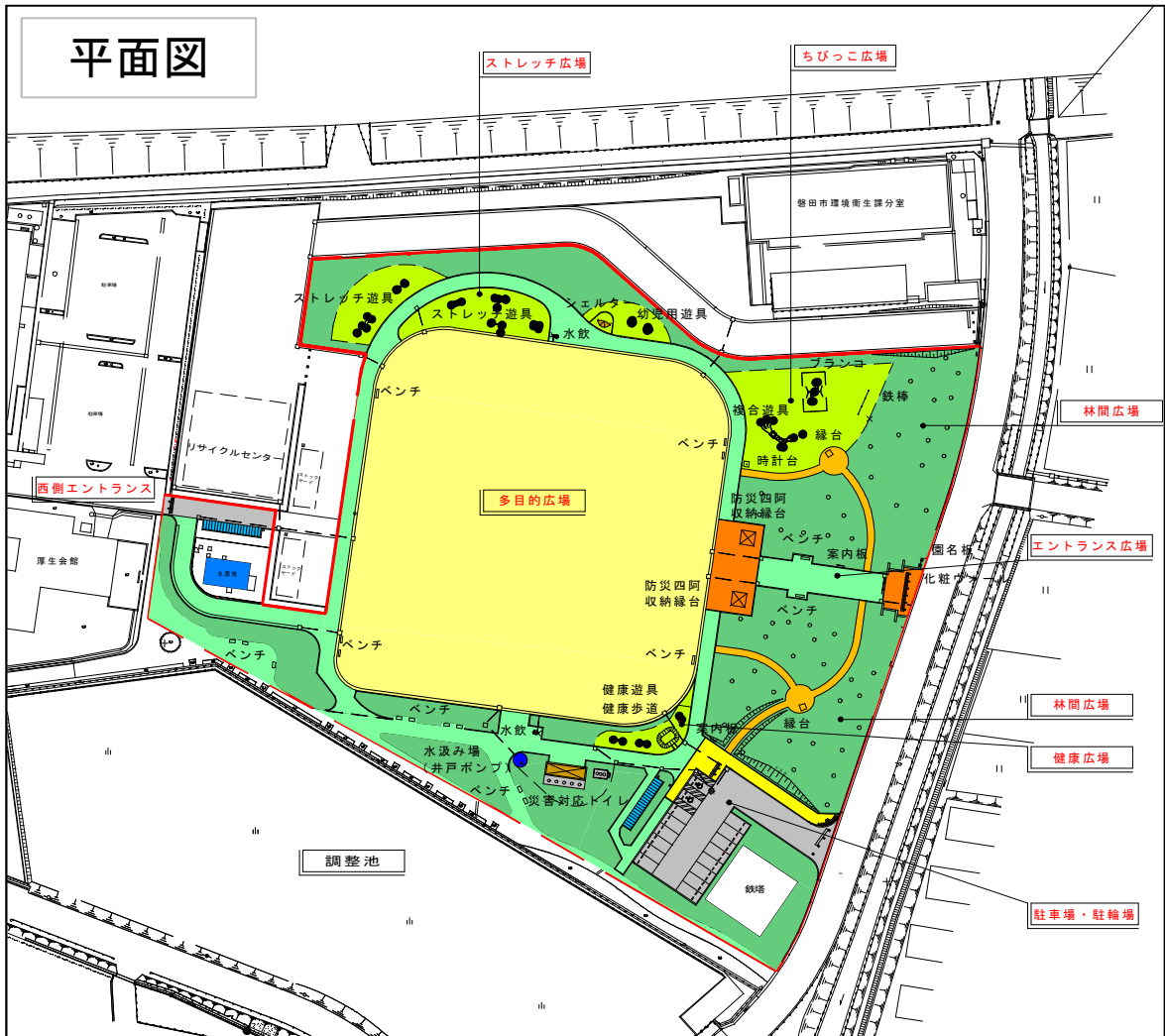
工期 令和1年10月17日 ～ 令和2年10月30日

工事数量	敷地造成工	1式
	植栽基盤工	1式
	植栽工	1式
	給水設備工	1式
	雨水排水設備工	1式
	汚水排水設備工	1式
	電気設備工	1式
	園路広場整備工	1式
	遊戯施設整備工	1式
	サービス施設工	1式
	管理施設整備工	1式
	建築施設組立設置工	1式
	構造物撤去工	1式

現場位置図



平面図



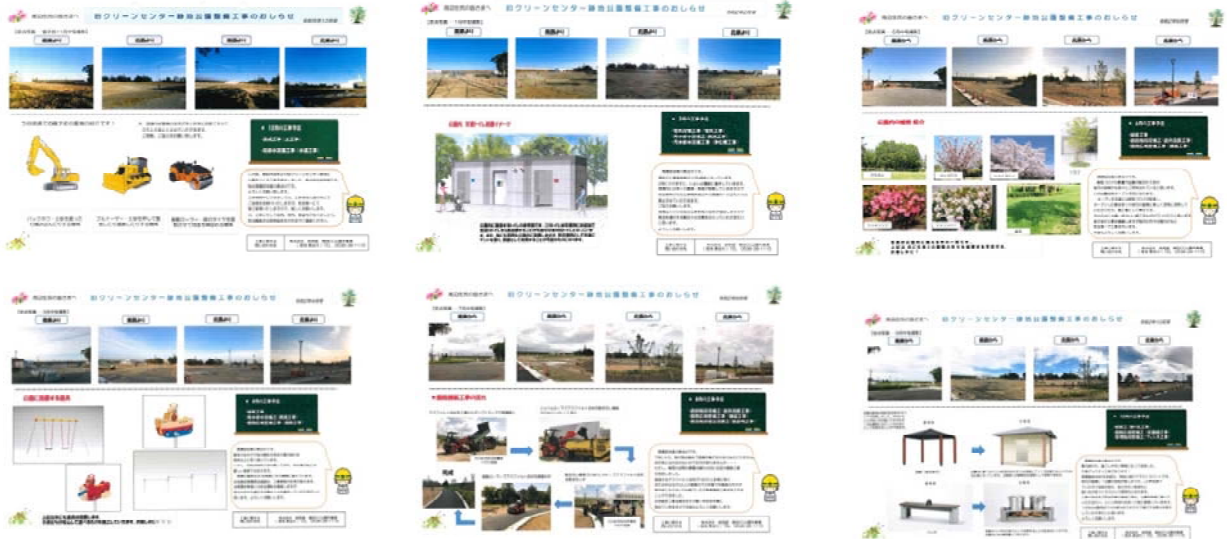
1.現場の特色・問題点

○特色

- ・工事箇所周辺には園路があり、地元の方々のウォーキングコースになっている。
- ・工事箇所に隣接して市民温水プールがあり子供からお年寄りまで利用に来る。
- ・工事箇所に隣接してクリーンセンターがあり、磐田市民がゴミの処分に来る。

◎上記の特色より工事施工中の第三者への配慮、安全対策の策定が必要であった。

対応策1



地元住民や現場周辺を通行する方々に工事内容や工事進捗を広報誌にて周知し理解を深めた。

作成は工事期間11ヶ月、周辺5自治会に毎月123部、配布を行った。

また、近接する園路に掲示板を設置し、通行する方々にも周知した。

掲示板設置状況



掲示板には ・広報誌の他に週間工程表や月例工事進捗率のおしらせも行った。

フラワーポット設置状況



公園完成予定平面図看板



その他にも第三者への配慮、現場イメージアップのため
 ・公園完成予定平面図の看板
 ・現場出入口にフラワーポットの設置を行った。

対応策2

- ・地元自治会主催の環境整備事業(除草作業・側溝清掃)に参加し、地元の方々とコミュニケーションをとり工事へのイメージアップや工事への意見交換をはかった。
全5回、各2～3人程度参加



対応策3

- ・現場周辺の危険箇所の見える化 ハザードマップ看板の設置

現場周辺の危険箇所を常に作業員の目に着くように現場入場口にハザードマップを大看板にて設置し、第三者への事故、トラブル防止に努めた。



対策結果

1-1.周辺自治会住民への.広報誌の配布

定期的に広報誌を配布することで、地元の方々に現場のことを理解していただき、注意喚起することが出来た。

1-2.掲示板やフラワーポット、完成予想平面図を設置

設置する前は、通行する第三者に何をつくっているのか？と聞かれることが多かったが看板を設置したことで周知ができ、公園工事に関心を持っていただけるようになった。また、フラワーポットを設置することで現場のイメージアップと現場作業員の気分転換にも繋がったように思われた。

2.地元自治会主催の環境整備(除草作業・側溝清掃)への参加

現場周辺の清掃・除草を行い、地元自治会に貢献ができ、コミュニケーションが図れたことで現場運営もスムーズに進めることが出来た。

3.危険箇所の見える化 ハザードマップ看板の設置

現場出入口に大看板に写真付きでハザードマップも設置したことで、現場従事者の目に着きやすく、常に現場及び現場周辺の危険箇所がどこなのかを把握することが出来意識の高揚にも繋がったと思われる。

工事期間内での災害事故、第三者事故、トラブル等は発生しなかった。

おわりに

今回の工事は工事期間が長い中で、地元対応だけでなく、コロナの感染対策、梅雨の長雨、真夏の猛暑日による熱中症対策と施工以外にも配慮・留意するところが非常に多い現場でした。

現場内外の安全はもちろんですが、常に周辺に気を配り、先を考えて安全対策の検討を行い実施し安全管理を一番に考え実行出来た結果が、事故や苦情がなく工事を完了することが出来たと思っています。

またいつか、2020年のような感染症や自然の猛威により現場が大きく影響を受ける時がくるかもしれません。その時には今年経験した事を思い出し、対策・対応を行い乗り越えたいと思います。

今後も世の中の状況、現場条件や現場環境をしっかりと考えた安全対策をとって安全第一で工事を行っていきたいと思います。

最後に今回の工事で工事関係者並びに発注者の方々には多くのアドバイスをいただき大変感謝しています。

今回の経験をこれからの工事に活かしていきたいと思います。